



Smart LEDZ RX-342N
(シーンセクターリモコン)

取扱説明書 (JPN_REV0.1)



1. はじめに

この取扱説明書はSmart LEDZ RX-342N (シーンセクターリモコン) ※以下、リモコンと表記する について記載しています。必ずお読みの上、正しくお使いください。

- 本機はSmart LEDZシステムのゲートウェイと連動して、照明を制御することができる機器です。
- 本機で照明を制御するためには、別途タブレット型コントローラでシーンの設定が必要になります。リモコン単体での使用はできません。
- リモコンに適合するSmart LEDZシステムのバージョンは3.0以上となります。
※システムバージョン2.0以下をご使用の場合は3.0へアップグレードしてください。
アップグレードの手順については、タブレット型コントローラに付属されています “Smart LEDZ ユーザーマニュアル”をご確認ください。
その他、ご不明な点は最寄営業所にお問い合わせください。
- 安全な工事をするために、この説明書の内容を理解してから設置してください。
- この説明書は保守の為、お客様に必ずお渡しください。
- この説明書は大切に保管してください。

注意

- 本書に記載している画面およびイラストは実際の製品と異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成しておりますが、万が一不明な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 本機の不適切な使用、本書に基づかない使用を理由とする損害、逸失利益等の損害請求につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1

使用条件

以下の環境でご使用ください。

- 動作温度：+5℃ ~ +35℃
- 保存温度 (非動作時)：-10℃ ~ +50℃
- 湿度：85%以下 (結露しないこと)

2. 安全上のご注意

ご使用前に“安全上のご注意”をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

警告

誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性があります。

感電や障害の恐れがあります

- 製品の分解、修理、改造はしないでください。
(火災、感電の原因となります。)
- 水に濡れる恐れがある場所でのご使用はしないでください。
水に濡れた場合はご使用をやめて、販売店または最寄営業所にご相談ください。
(感電、故障の原因となります。)
- 湿気、ホコリ、すずの多い場所には置かないでください。
(故障、火災の原因となります。)
- 直射日光の当たる場所、ストーブの近くなど35℃以上の高温になる場所や火気の周りおよびエアコンの吹き出し口の近くでの使用、設置はしないでください。
(故障、火災の原因となります。)
- 施工は購入店または専門業者に依頼してください。
(故障、火災、感電などの原因となります。)
- 重量に十分に耐えられる場所に確実に取り付けてください。
(落下による火災、感電の原因となります。)

2

注意

誤った取扱いをしたときに、製品の故障およびデータ損失の可能性があります。

故障の可能性があります

- 製品を落とすなど強い衝撃を与えたり、製品の上に重いものを置かないでください。
(故障の原因となります。)
- 製品の内部にホコリなどの異物が入らない様に注意してください。
(故障、火災の原因となります。)
- オプション部品は付属の専用オプション部品をご使用ください。
(故障の原因となります。)
- 製品に水をかけたり、ベンゼン、シンナーなどの化学物質で拭かないでください。
(火災、感電および表面をいためる恐れがあります。)
- 磁石など磁性の強いものと一緒に保管しないでください。
(故障の原因となります。)
- 可燃性ガスが触れる可能性のある場所には設置しないでください。
(発火の原因となります。)
- 濡れた手で本体に触れないでください。
(感電、故障の原因となります。)
- 乾燥していない壁紙やコンクリート面に設置しないでください。
(絶縁不良や固定部のサビにより、感電、落下の原因となります。)
- 定期点検のすすめ
◆ 1年に1回程度の点検をおすすめします。
◆ ホコリの蓄積、異常な臭い、異音、発熱が無いことを確認してください。
異常を感じた場合はご使用をやめて、最寄営業所にご相談ください。

3. 構成



3

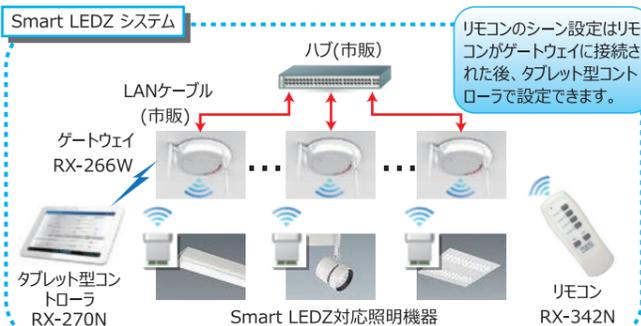
4. 各部の名称・機能



- ① ONボタン : ソーン内で設定された (シーン設定) 照明を点灯します。
- ② OFFボタン : ソーン内で設定された (シーン設定) 照明を消灯します。
- ③ SCENE1ボタン : シーン1を再生します。
- ④ SCENE2ボタン : シーン2を再生します。
- ⑤ SCENE3ボタン : シーン3を再生します。
- ⑥ SCENE4ボタン : シーン4を再生します。
- ⑦ 電池カバー : 電池の挿入または取り外しが必要なときに開閉してください。
- ⑧ 前面インジケータ : インジケータの動作は13ページを参照してください。
- ⑨ トップインジケータ : インジケータの動作は13ページを参照してください。

4

5. システム概要



- Smart LEDZ 1システムで最大20ゾーン×10シーンの設定が可能です。
- 1ゾーン10シーンの中から4シーンまでリモコンへの設定が可能です。
- 1ゾーンあたり、最大10台までリモコンへの設定が可能です。
- 別ゾーンのシーンを1台のリモコンに登録することはできません。

※ゾーンは最大20ゾーン設定可能			
ゾーン1	ゾーン2	...	ゾーン20
シーン1	シーン1	1	シーン1
シーン2	シーン2	2	シーン2
シーン3	シーン3	3	シーン3
シーン4	シーン4	4	シーン4
シーン5	シーン5	5	シーン5
シーン6	シーン6	6	シーン6
シーン7	シーン7	7	シーン7
シーン8	シーン8	8	シーン8
シーン9	シーン9	9	シーン9
シーン10	シーン10	10	シーン10

リモコン① リモコン② リモコン③ リモコン④

※シーンセクターリモコンを1ゾーン当り最大10台登録可能

5

注意

- リモコン単体でのシーン登録はできません。
あらかじめタブレット型コントローラで設定した複数のシーンから任意のシーンをリモコンボタンに登録することが可能です。
- スマートLEDZ 1システムにリモコンは20台まで登録が可能です。
ただし、複数台のリモコンまたは照度・人感センサーを同時に使用すると、シーンの切替えに遅延が発生する場合があります。
全てのリモコンを同時に操作しない場合は、最大40台まで登録が可能です。
- ゲートウェイ1台に接続できるデバイスの台数は最大200台となります。
センサーを5台、リモコンを5台接続されていれば、残り190台の接続が可能です。
- シーンの切替えや照明のON/OFFを無線通信で制御するため、連続での操作はできません。リモコンボタンを押してから、別のボタンが反応するまで5秒かかります。

6. 製品の設置手順

シーンセクターリモコンの設置

リモコンホルダー用テープでのホルダー設置

- ① ホルダーの背面に汚れがないことをご確認ください。汚れがある場合はきれいに拭き取ってください。
- ② テープの黄色の紙を剥がし、ホルダーの背面に取り付けてください。
- ③ 張り付けたテープの白色の紙を剥がしてください。
- ④ 壁面に汚れなどが無いことを確認し、しっかりと押しつけてホルダーを設置してください。



木ネジでのホルダー設置

木ネジをホルダーの穴に通し、ホルダーが固定されるまで最後まで回して締めてください。



6

注意

- 木ネジは木の壁に固定する場合のみご使用できます。
- 木ネジは指定された仕様のもので使用してください。
- 木ネジをあまりにも強い力で締結すると、ホルダーが破損する可能性があります。
- 両面テープをはがすときは壁材等もはがれる場合がありますので、ご注意ください。
- リモコンはゲートウェイと通信します。リモコンの設置場所はゲートウェイから半径35mの通信範囲内に設置することを推奨します。

電池の入れ方

- ① 矢印方向に電池カバーの爪を押し、上方向に押し上げて電池カバーを開けてください。
- ② 電池の極性 (+) と (-) を確認して挿入してください。
- ③ 電池カバーを再度閉じてください。



- 電池交換時期の目安
◆ 電池は1年を目安に取り替えてください。
◆ 1年を経過しなくても前面インジケータが点灯しなくなった場合は電池を交換してください。

注意

- 長時間リモコンを使用しないとき、電池を使い切ったときは電池を取り外してください。リモコンの中に放置すると、液もれなどを起こしてけがやけど、リモコンを破損させるおそれがあります。
- 電池は単四形乾電池以外のものや、新旧の電池を混ぜて使わないでください。
- 電池交換の際、必ず2本とも交換してください。
- 電池の極性 +、- を間違えないように入れてください。
- 初回セットの電池は動作確認用のものです。新しい電池と交換してご使用ください。
- 充電式電池はご使用しないでください。寸法や性能が異なります。
- 電池を交換した後は、一度セットアップモード (※1) にしてください。通信可能な状態に再現されます。そしてスタンバイモード (※2) に戻すことで設定後のリモコン機能が再開されます。上記手順を行なわなかった場合は、ゲートウェイとの通信が再開されず、シーンの再生が出来なくなります。

7

7. リモコンのシーン設定

1. タブレット型コントローラでシーン作成を行なってください。
シーン作成についてはタブレット型コントローラに付属されています “Smart LEDZ ユーザーマニュアル”をご確認ください。
2. タブレット型コントローラでゲートウェイとリモコンの新規接続を可能な状態にします。
[HOME]画面 ▶ [セットアップ] ▶ [基本設定] ▶ [ゲートウェイ通信詳細設定] をタップします。
無線モジュール新規接続の【編集】ボタンをタップし、“接続可能”を選択して [OK] をタップしてください。
3. シーン設定のためにセットアップモードに移します。

セットアップモード

“ON”ボタンと“SCENE4”ボタンを同時に5秒以上押しす

8

※1 セットアップモード・・・ “ON”ボタンと“SCENE4”ボタンを同時に5秒以上押しす。
リモコンの登録および設定時の状態。リモコンとゲートウェイは常時通信を行ないます。常時通信を行なうため、電池は著しく消耗します。
再度、“ON”ボタンと“SCENE4”ボタンを同時に5秒以上押しすことでスタンバイモードに戻ります。

※2 スタンバイモード・・・ 通常使用時の状態。リモコン操作時のみゲートウェイとの通信を行ないます。

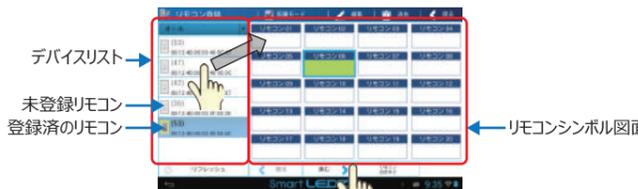
4. セットアップ画面の[基本設定]をタップし、セットアップ詳細設定画面を表示します。



5. セットアップ詳細設定画面の[シーンセレクトリモコン]をタップし、リモコン登録画面を表示します。



6. シーンを設定するリモコンを右側のリモコンシンボル図面にドラッグ&ドロップします。デバイスリスト内のリモコンをタップすると、2つのインジケータが点滅します。点滅することで対応するリモコンが判別できます。タブレット画面にはリモコンシンボル図面が最大20台分表示されます。(01~20)「進む >」ボタンをタップすると次画面に更に20台分のリモコン設定画面を表示することができます。(21~40)



9

登録されているリモコンの配置情報をリモコンシンボル図面から消去したい場合は、該当するリモコンシンボルを選択し、上段の消去ボタンをタップした後、確認画面の[Yes]をタップしてください。



7. 登録済みのリモコンシンボルを選択し、[編集]ボタンをタップします。



8. リモコンのシーンセレクト画面で、設定したい[ゾーン]▶[シーン]を選択します。



10

9. 選択したシーンを[リモコンボタン]の設定したいボタンへドラッグ&ドロップします。設定が完了しましたら、画面右上の[戻る]ボタンをタップし、リモコンのシーンセレクト画面を閉じます。



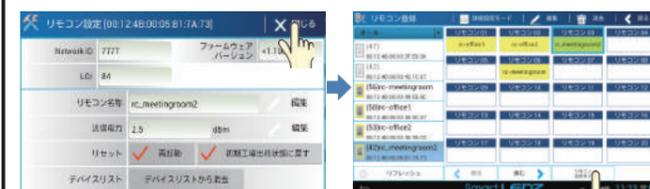
10. 配置モードの選択を解除し、詳細設定モードにすることでリモコンの詳細設定ができます。デバイスリストのアイコンをロングタップし、[リモコン設定]画面を表示します。



- ① リモコン名称 : リモコンの名前を設定します。
※半角英数字 64文字 (全角の場合 21文字) 以内
- ② 送信電力 : 送信の強さを設定します。(16段階)
- ③ 再起動 : リモコンの無線モジュールを再起動します。
- ④ 初期工場出荷状態に戻す : リモコンの無線モジュールを工場出荷状態に戻します。
- ⑤ デバイスリストから消去 : ゲートウェイに登録しているリモコンリストから削除します。

11

11. リモコン設定が終了しましたら、画面を閉じます。[リモコン設定終了]をタップして、シーンの設定を終了します。リモコンは自動でスタンバイモードに戻ります。



12. タブレット型コントローラでゲートウェイとリモコンの新規接続を不可能な状態にします。[HOME]画面▶[セットアップ]▶[基本設定]▶[ゲートウェイ通信詳細設定]をタップします。無線モジュール新規接続の[編集]ボタンをタップします。“接続不可能”を選択し、[OK]をタップしてください。

※ その他機能、詳細設定についてはタブレット型コントローラに付属されています
“Smart LEDZ ユーザーマニュアル”をご確認ください。

12

注意

- 電池を交換しても、リモコンに設定されているシーンは維持されます。しかし、リモコンが保有しているゲートウェイの情報が消去されるため、再度ゲートウェイとの通信が必要になります。詳細は7ページ「電池の入れ方」の注意を参照してください。
- セットアップモードでは、リモコンでシーン選択、照明のON/OFFはできません。
- リモコンのボタンを押してから5秒以内は他のボタンを押しても、反応しません。
- セットアップモードでは常時通信を行なうため、電池を著しく消耗します。リモコンの登録および設定が完了したら、必ずスタンバイモードに戻っていることをご確認ください。

その他

- リモコンのファームウェアのアップグレードはSmart LEDZタブレット型コントローラを操作して行います。リモコンのファームウェアのアップグレードはアップグレードモード(※3)で進行し、トップインジケータが点滅します。

- アップグレードの手順については、タブレット型コントローラに付属されています
“Smart LEDZ ユーザーマニュアル”をご確認ください。

- リモコンのインジケータについての動作は以下表を参照ください。

モード	インジケータ	動作	説明および状態
スタンバイモード	前面インジケータ	消灯	ボタンを押していない時
		5秒間点滅 (0.5秒点灯、0.5秒消灯)	ボタンを押した時
セットアップモード	前面インジケータ	点滅 (1秒点灯、4秒消灯)	ゲートウェイ未登録
		点滅 (1秒点灯、1秒消灯)	ゲートウェイ登録済
アップグレードモード	トップインジケータ	5秒間点滅 (0.5秒点灯、0.5秒消灯)	リモコン登録時の特定用(※4)
		点滅 (1秒点灯、4秒消灯)	アップグレード前
		点滅 (1秒点灯、1秒消灯)	アップグレード中(※5)

※3 アップグレードモード… リモコンをアップグレードするためのモードです。リモコンとゲートウェイは常時通信します。アップグレードモードは“ON”ボタンと“SCENE3”ボタンを同時に5秒以上押しと移行します。

※4 リモコン登録時に、デバイスリスト内のリモコンMACアドレスをタップすると、2つのインジケータが点滅します。点滅することで対応するリモコンが判別できます。

※5 アップグレード後は、自動的にスタンバイモードに移行します。

13

8. トラブルシューティング

よくある質問と対処法について説明します。

- Q : Smart LEDZタブレット型コントローラでの設定はできたが、リモコンで操作できない。
A : Smart LEDZタブレット型コントローラで接続状態を確認してください。それでも操作できない場合は、電池の脱着をしてください。電池を脱着した際は必ず、セットアップモードに変更してください。詳細は7ページ“電池の入れ方”の注意を参照してください。

- Q : リモコンで制御する場所やシーンの設定を変更したい。
A : Smart LEDZタブレット型コントローラでシーン設定の変更を行ってください。その場合、設定時はリモコンをセットアップモードにしてください。

9. 製品仕様

- 電源 : DC 3V (単四形乾電池 2本)
- サイズ : W45 x H21 x L115mm (本体のみ)
- 重量 : 45g (本体のみ, 電池を除く)
- 消費電力 : 0.15W ※ゲートウェイとの通信時
- 通信距離 : 半径35m (直径70m) ※一般的な壁で隔たれていない解放空間での通信距離

14

10. 保証とアフターサービス

無償提供規定

- 1) 保証期間内に故障して、無償提供をご依頼の場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 2) 無償保証期間および範囲
 - 据え付けた当日を含めた1年間としますが無償にて代替品の支給を行うのは、故障または当社が認めた機器に限ります。
 - アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 3) 保証期間内でも、次のような場合には有償提供になります。
 - (a) 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合。
 - (b) 当製品を改造した場合。
 - (c) 操作方法の不備による事故、損傷や故障の場合。
 - (d) 据え付け場所の不備による事故、損傷や故障の場合。
 - －化学薬品および強電界などの特殊環境条件。結露、塩害など。
 - (e) 据え付け工事中の取り扱い不備がある場合。
 - －据え付け工事中の取り扱い不備のための事故、損傷や故障の場合。
 - (f) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
 - (g) 本機事故に起因した営業保証などの2次保証はいたしません。
 - (h) その他、据え付け、操作、保守上常識となっている内容を逸脱したご使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。
- 4) 本製品は日本国内専用ですので日本国外ではご使用できません。アフターサービスもできません。
- 5) この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償提供をお約束するものです。したがって、この保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

15

11. 注意事項

電波干渉によって、次のような状態になる可能性があります。

- 1) ゲートウェイとの通信距離の短縮
- 2) 通信の一時的または完全な遮断

電気機器やAV・OA機器、または電磁波が発生する磁気機器の付近でのご使用は避けて下さい。周りの磁気や電気ノイズによっては通信ノイズが増えるSmart LEDZシステムの無線通信が遮断される可能性があります。(特に電子レンジを使用する場合)
TV、ラジオなどの付近やモバイルルーターの使用はSmart LEDZシステムとの干渉を起すことがあります。無線通信(電波)は周囲の障害物により遮へいされたり、反射したりします。

障害物による影響の程度は、以下のとおりです。

材質	金属	コンクリート	煉瓦	石膏ボード	合成樹脂	ガラス
障害の影響	とても大きい	大きい	中	小さい	小さい	小さい

2.4GHzの装置の注意事項

本製品は2.4GHzの特定小電力無線通信システムが組み込まれており、2.4GHz全帯域を使用する無線設備で移動体識別装置の帯域に対して回避可能です。

本製品は産業、科学、消費者及び医療機器等に使用されるのと同じ周波数帯域で動作しています。この周波数帯域は、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、製造生産ライン(免許を要する無線局)で使用する移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)などが含まれています。

- 1) 本製品を使用する前に移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局として、特定小電力無線局とアマチュア無線局を識別するための無線基地局が近くに運営されていないことを確認してください。
- 2) 本製品が特定の無線局および無線基地局に妨害電波干渉を起す場合には、すぐに電波の発信を停止し、別の場所に移動するか使用を停止、または周波数チャンネルを変更してください。
- 3) 本製品を使用する前に移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局として、特定小電力無線局とアマチュア無線局を識別するための無線基地局が近くに運営されていないことを確認してください。
- 4) 本製品が特定の無線局および無線基地局に妨害電波干渉を起す場合には、すぐに電波の発信を停止し、別の場所に移動するか使用を停止、または周波数チャンネルを変更してください。
- 5) 本製品は、電波法に基づき特定小電力無線通信システムの無線局の端末設備として技術基準適合証明を受けた部品が内蔵されています。
- 6) 本製品は、技術基準適合証明等を受けていますので、本製品を分解・改造した場合、法律で罰せられることがあります。

16